

「広島県立総合技術研究所 活用事例集」について

1 要旨・目的

県内中小企業や農林水産事業者に対する支援成果を幅広く示すことで、支援を必要としている新たな顧客からの利活用促進につなげるため、技術支援制度、活用事例及び支援成果を具体的に紹介した「活用事例集」を発行する。

2 現状・背景

県立総合技術研究所では、県経済の持続的な発展に貢献するために、県内中小企業及び農林水産事業者が抱える技術的課題の解決に向け、様々な支援を行っている。

平成30年以降、「活用事例集」を作成・発行して、ホームページでの公開や配布により、広く技術支援制度・支援成果を広報し、新規利用者の増と効果的な課題解決策の提供につながっている。

このたび、コロナ禍での支援やデジタル技術活用など新規の事例により更新・発行する。

3 概要

(1) 発行時期

令和6年2月

(2) 実施内容

デジタル技術の活用、県が保有する知的財産権の活用、行政支援事例（庁内各局との連携事例）など、計79事例を掲載する。

4 その他（関連情報等）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-soken/jireishu.html>

（県立総合技術研究所ホームページ上で公開。掲載イメージは別紙のとおり）

飛沫防止機能を有する布マスクの性能評価



春・夏用布マスク

【事業者名】有限会社ファッション
リフォームエース
【活用した制度】ギ
【利用したセンター】西部工業技術センター

利用者の課題

コロナ禍の初期に、マスクの供給が滞っていたところ、裁縫メーカーとして布マスクの製造を始められました。購入者の方に安心してご利用いただくために、布マスクの飛沫防止機能の性能評価を行いたいと依頼がありました。

支援の内容

マスクの性能評価に関する規格に沿った装置を保有していないため、疑似的な試験方法を提案し、ギカジにより評価支援を行いました。飛沫サイズの粒子を噴霧し、透過した粒子の量を画像処理によって測定することで、飛沫防止機能の性能を評価しました。

支援の成果

定量的な性能評価を行ったことで、自信をもって製造・販売されました。マスクの供給が不足していた状況で、県内の医療機関へ布マスクを提供されました。

広島令和1号酵母を使用した清酒



令和4年度広島県清酒品評会「広島令和1号酵母を使用した清酒部門」における出品酒（ラベルは市販品と同じ）

【事業者名】県内酒造会社20社
【活用した制度】受、知、指
【利用したセンター】食品工業技術センター

利用者の課題

清酒の吟醸香の一種であるバナナ様の香り（酢酸イソアミル）を既存の酵母より多く生成し、溶剤臭（イソアミルアルコール）の生成が少ない清酒酵母を求められていました。

支援の内容

広島県酒造協同組合からの受託研究により、「バナナやブドウを連想させる華やかでフルーティーな香りと、味のふくらみもありながら後キレの良い味わい」の清酒となり易い酵母「広島令和1号酵母」を開発しました。

支援の成果

開発酵母は、広島県酒造協同組合を通じて県内酒造会社に販売され、20社（令和3年度時点）で使用されています。令和4年度から、広島県清酒品評会で「広島令和1号酵母を使用した清酒部門」が設けられ、表彰を行っています。